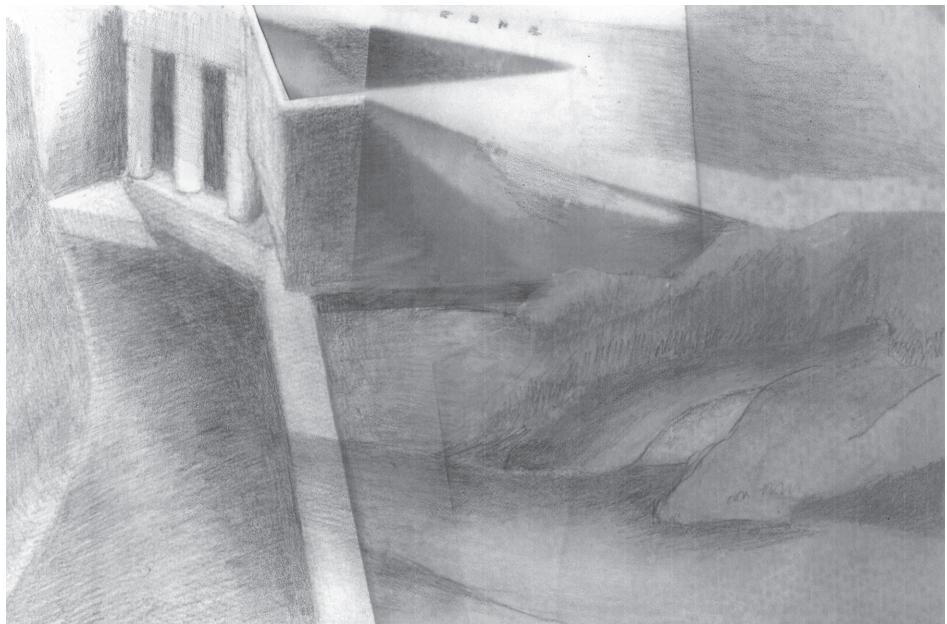


# 文芸ふじさわ

第 55 集



## 表紙のことば

新年の箱根駅伝のテレビの実況放送、3区の戸塚の中継地点からしばらくすると遊行寺坂になります。まもなくヘリコプターの音が聞こえ始め、自宅周辺はざわざわ人の動きがあり、中継は浜見山を過ぎ、テレビに、ぱーっとまぶしい「湘南海岸」が映し出されます。「何ていいところに住んでるんだろう！」とうつとりします。

遊行寺坂を下ったところの橋、今は藤沢橋。江戸時代の広重の「藤沢宿」の橋は遊行寺橋。橋の下には境川が流れ、滝川が合流しています。勢いよく流れ落ちる滝川をながめていると、不思議な気持ちが湧いてきます。

絵と文 宮原青子

# 文芸ふじさわ

## 第 55 集



俳句	5
短歌	33
川柳	47
五行歌	67
現代詩	81
隨筆	89
編集後記	142





## 「文芸ふじさわ第55集によせて」

藤沢市教育委員会 教育長 岩本 将宏

「文芸ふじさわ第55集」が発行されますことを心からお慶び申し上げます。市民のみなさまが日常生活の中を感じられたことを文字で表現された、「川柳」「俳句」「短歌」「五行歌」「現代詩」「隨筆」の作品集が、今年も発行されましたことをたいへん嬉しく思っております。

昨年から今年にかけて、世の中は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年間となりました。そして、感染防止対策への取組は現在も続いています。東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ多くのイベントが延期や中止となりました。文化イベントも同様ですので、みなさまの活動にとつても厳しい一年間になったのではないでしょか。不自由な生活を強いられ、「新しい生活様式」が求められる中でさまざまに工夫をしながら人々は充実を求めて努力してきました。おそらく、今回の経験から気づき、感じられたことを作品にされた方もおられると思います。日頃忘れていた大切なことに気づかてくれる作品に出会うことはとても嬉しいことです。今回の災難からも、多くの人の心を和ませてくれる作品が数多く生まれることを願っています。

ご自身の趣味として執筆活動をされている方は多くいらっしゃると思います。その作品を投稿する場があることは、とても幸せなことです。多くの人に自分の作品を読んでいただくことで励みになり、他の人の作品を読むことで刺激を受けることができますし、表現の幅を広げることもできます。同じ趣味を持つ人たちの間に生まれる「人の和」はとても素晴らしいと思います。「文芸ふじさわ」は、文芸を愛する方々にとって、とても大切なプラットホームになつているのだと思います。このように「文芸ふじさわ」が毎年発行を続けてこられたのは、文芸を愛するみなさまが熱心に作品の投稿を続けてこられたことと、編集委員のみなさまのご努力によるものと感謝しております。  
文芸作品を通して広がるみなさまの輪が、さらに大きく広がり、ますます愛される「文芸ふじさわ」となることを心より願っております。

